



～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉

先日、広島のがいきなりの解散宣言。  
表面上は良い事ばかり言って、容易に協力的だった。  
私も会を大きくする為にボランティア感覚で何回も広島に足を運び、講義や講演を行っていた。  
楽しかった。  
京都同様、一生付き合っていける同志達に出会えたと思った。  
結局、広島側のよくわからない都合でいきなりの解散。  
これも運命か。  
なかなか上手く行かないものだ。  
平成武師道を始めて3年目。  
それまでに多くの経営者や様々な会の人々に出会ってきた。  
武師道に全く興味ない者。  
興味がある振りをする者。  
協力します、と口では言ってもそれ以降全く連絡の無い者。  
本当に様々な人達と出会った。  
その中で、京都の本部を支えてくれている同志達に出会えた事を感謝している。  
自分を高めるために武師道を学ぶ同志。  
多忙の為、月1回の勉強会にも出る事は出来ないが、平成武師道に協力をしてくれる同志。  
そして、佐竹雅昭を信じて協力してくれる同志。  
其れ故に、広島に武師道を広める為に費やした京都の同志達による援助を無駄にしてしまった事を申し訳なく思う。  
今後、博多、熊本とこれもまだボランティア的な段階で足を運んでいる状態なので、  
私自身、京都の支援無くして出来ない事は確か。  
ただ博多と熊本は心から信じて一生付き合っていける同志がいるので、京都の同志達よ、  
もう少し時間を与えてもらいたい。  
また、京都ももっと充実していかなければならないし、百人の武師を集める事を忘れてはならないだろう。  
しかし、この会は数ではなく質。  
烏合の衆にはしたくない。  
焦らず、背中でものが語れる男を探していこうではないか。  
不景気の中、どうしても退会せざる負えない者も出てきている。  
それでも佐竹と武師道を愛してくれている同志達には、口では言えないくらい感謝している。  
それだからこそ、もっともっと多くの事を学び、平成武師道を世界に発信する為に動き続ける所存だ。  
ただ、これまでの出会いで分かった事がある。  
十人十色、百人百色。  
全ての人々の考えは違うと言う事。  
また、嫌な事をされても相手にも何か理由があったはず。  
最初から期待した自分も甘かっただけ。  
依頼心・依存心・期待心を持つと、考えの違う人に出会うとショックが大きくなる。  
だから私は最初からそれらを持たないよう努める。  
嫌な事をされたら、今度はその様な事をしてはいけないという事を教えてくれてありがとう。と思えるように努める。  
格闘技時代は本当にどうしようもない奴らばかりだった。  
でも、こういう種族の人間になってはいけないと教えてくれてありがとう。と今では思う。  
また武師道から逃げたり、去って行った人も、まだまだ私の勉強不足を教えてくれてありがとう。と思う。  
でも一番の“ありがとう”は現時点まで協力してくれる武師道の同志達に“ありがとう”だ！  
私は、やはり多くの同志達の支えの中で生きて、生かされている事を実感している。  
押忍！ありがとう！！



佐竹雅昭